

令和3年度 社会福祉法人みねやま福祉会 事業報告

1 はじめに

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の集団感染が発生した施設がでるなど、昨年度に続き感染症対応に追われた1年でした。

創立70周年記念事業は、新型コロナウイルス感染が広がる中での開催は適切ではないとの判断から更に延期とし、法人の未来像を明確にするための“NEXT VISION 2030”を完成させました。

新型コロナウイルス感染症のひろがりや自然災害による被害が全国的に多く見られることから、法人および事業所毎の事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）策定を開始し、年度内では5事業所で完成することができました。

また、令和3年12月21日付でグッドガバナンス認証を取得しました。これは、第三者認証機関である一般財団法人非営利組織評価センターが全国規模で実施している、組織の信頼性を評価し証明する認証制度です。従来から受診している第三者評価・外部評価が事業所単位の評価であることから、法人としての評価を得るため受診したものです。

以下、主な項目について報告します。

(1) 運営面について

(ア) 新型コロナウイルス感染対策の実施

ア) マスク着用、手洗い・手指消毒の徹底実施、身体的距離の確保、3密の回避など、感染予防対策を実施していましたが、感染症が発生しクラスターとなった施設がありました。しかし、行政や関係者等と連携し対応したことで、被害を最小限にとどめることができました。

※SDGs 目標No.3（健康・福祉）に対応。

(イ) より質の高い福祉サービスの提供

ア) 従来サービスを磨くため、第三者評価・外部評価を計画的に受診しサービスの改善に取り組みました。はごろも苑が第三者評価、グループホームかえで・はごろも苑みやづの家が外部評価を受診しました。また、法人として、グッドガバナンス認証を受診しました。

イ) 保護者アンケートや顧客満足度（CS）調査、運営推進会議等、地域の方からの意見聴取機会を設けニーズの把握に努めました。

ウ) 実践研究を計画的に実施しました。法人内での発表会は、新型コロナウイルス感染症の拡大により2度延期し、令和4年5月に実施しました。

※SDGs 目標No.3（健康・福祉）とNo.11（まちづくり）に対応。

(ウ) 地域の人々の暮らしへの貢献

施設開放を実施する等、地域の子育て支援や子供達への遊び場提供、小中高校の福祉体験受入、地区福祉サロン等でのレクリエーション・介護相談等を実施しました

※SDGs 目標No.11（まちづくり）に対応

(エ) 職員の幸福追求

・職員満足度を向上させるため、京都府福祉職場組織活性化プログラムのアンケート調査を実施し、収集したデータを分析し改善案を検討・活用する取り組みを実施しました。

・コンサルタント会社の活用とプロジェクトチームによる検討を行い、人事管理制度を改定しました。

※SDGs 目標No.8（働きがい・成長）に対応

(オ) 中期経営計画の策定

・中期経営計画策定のための土台となる”NEXTVISION 2030”を完成させました。

※SDGs 目標No.8 (働きがい・成長) とNo.17 (パートナーシップ) に対応

(カ) 人材の確保と育成および人手不足の解消

ア) 令和4年4月新規採用36人の目標に対し、27人(正職24人、契約職員2人、パート職員1人)を採用しました。

イ) 新人職員の研修を計画的に実施しました。中堅層以上の職員に対しては、自分達でテーマを決め、研修プログラムを作成し学ぶ“FUKUSHI STUDIES”を実施しました。

ウ) 日常業務や研修、会議にWEB会議システムを活用することで移動時間短縮等、時間の効率化を図ることができました。

※SDGs 目標No.4 (教育) とNo.8 (働きがい・成長) 対応

(キ) 法人創立70周年事業(式典と講演会)の実施

・新型コロナウイルス感染症の拡大が続いたことから、再度延期しました。

※SDGs 目標No.4 (教育) とNo.8 (働きがい・成長) とNo.17 (パートナーシップ) に対応

(ク) 業務継続計画(BCP)の策定(自然災害発生時及び新型コロナウイルス感染症発生時)

法人内施設の5事業所で業務継続計画が策定できました。

※SDGs 目標No.11 (まちづくり) に対応

※BCP (Business Continuity Plan)

(2) 主な設備整備

乳幼児用体動センサー(ゆうかり乳児保育所)、防犯カメラ(大宮北保育所)、調理室エアコン(ゆうかり子ども園)、小型2人用ブランコ(ゆうかり子ども園)

(3) 主な施設整備について

空調機器室外機修繕(峰山乳児院)、幼児棟手洗場改修(吉津子ども園)、ゾーニング環境整備(はごろも苑)、熱交換器交換(はごろも苑)、空冷ヒートポンプ圧縮機No.2交換(はごろも苑)

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGs (持続可能な開発目標) 17の目標

2 理事会（12回開催）

No.	開催年月日	出席数	内 容
1	R03.04.06	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会委員の選任について ・その他
2	R03.06.10	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(案)について ・令和2年度決算報告(案)について ・理事・監事候補者の選任について ・定時評議員会の招集について ・令和3年度昇給及び夏季賞与の支給について ・はごろも苑空冷ヒートポンプ圧縮機No.2 交換作業 請負契約の締結について ・諸規程の改正について ・評議員候補者の選任について ・社会福祉法人経営連携協定の締結について ・その他 報告事項
3	R03.06.28	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長の互選について ・その他
4	R03.07.29	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・NEXT VISION2030 進捗状況 ・「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」応募について ・その他 報告事項
5	R03.09.28	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・人事管理制度の改定について ・その他 報告事項
6	R03.10.07	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・諸規程の改正について ・「日本財団みらいの福祉施設建築プロジェクト」応募について ・その他
7	R03.11.22	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・マルチ車両リース契約の締結について ・年末賞与について ・技能実習生受入について ・その他 報告事項
8	R03.12.21	6人	<ul style="list-style-type: none"> ・さつき園での新規事業（居宅訪問型児童発達支援）の実施について ・AED のリース契約締結について ・その他 報告事項
9	R04.01.28	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・大宮北保育所・さつき園車両リース契約の締結について ・諸規程の改正について ・評議員会の招集について ・その他 報告事項
10	R04.03.14	7人	<ul style="list-style-type: none"> ・評議員選任・解任委員会の開催について ・評議員候補者の選任について ・その他
11	R04.03.23	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度補正予算（案）について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度予算（案）について ・定年による退職の特例の適用者について ・諸規程の改正について ・マルチエルダータウン面会室整備工事契約の締結について ・令和4年度建物管理業務委託契約の締結について ・施設長の選任について ・その他 報告事項
12	R04.03.29	8人	<ul style="list-style-type: none"> ・NEXT VISION 2030 について ・その他

3 評議員会（2回開催）

No.	開催年月日	出席数	内 容
1	R03.06.28	13人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業報告(案)について ・令和2年度決算報告(案)について ・理事・監事の選任について
2	R04.03.29	14人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度補正予算(案)について ・令和4年度事業計画(案)について ・令和4年度予算(案)について

4 法人監事監査（令和2年度実施分）

R03.06.01/06.02/06.03/06.04・・・各事業所、本部

5 監査・指導・第三者評価・外部評価

(1) 京都府指導監査（実地）

R03.11.19 …… 弥栄はごろも苑
はごろも苑（書面による監査）
峰山乳児院、てらす峰夢、ゆうかり乳児保育所、大宮北保育所
吉津子ども園、マ・ルート 吉津子ども園分園、ゆうかり子ども園
府中子ども園（書面による重点監査）

(2) 集団指導

介護保険サービス 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。資料の閲覧。
…… はごろも苑、弥栄はごろも苑、マ・ルート（エルダータウン）

障害福祉サービス 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。資料の閲覧。
…… はごろも苑、さつき園、すずらん、もみの木、
マ・ルート（ワングレハバー）

地域密着型サービス・居宅介護支援

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。資料の閲覧。
…… はごろも苑、弥栄はごろも苑、もみじ、かえで
ないきの家、さかいの家

(3) 第三者評価 R04.03.11 …… はごろも苑

(4) 外部評価 R03.10.26 …… かえで

R04.03.31 …… みやづの家

6 人材の確保について

(1) 採用活動

※()内現場職員参加分

内 容	回 数	訪問者延べ人数
就職フェア等への参加	15回（※12回）	459人
リモート見学	7回	39人
1DAY 法人見学ツアー	3回	9人
法人就職説明会（2022）	12回	78人
THE 福祉セミナー<5種類>	5回	33人
トークセッション	1回	10人
オンラインインターンシップ	6回	26人
インターンシップ	1回	3人
WEBトーク	56回	56人

(2) 正職員採用試験

No.	日程	募集人数	受験者数	合格者数	辞退者数	採用者数
1	(一次)R03.03.27 (一次)R03.04.03 (二次)R03.04.25	40	17	11	5	6
2	(一次)R03.04.24 (二次)R03.05.01		5	5	3	2
3	(一次)R03.05.22 (二次)R03.05.29		15	11	3	8
4	(一次)R03.09.04 (二次)R03.09.18		4	3	0	3
5	R03.10.24		3	3	1	2
6	R04.01.23		1	1	0	1
	合計	40	45	34	12	22

(3) 内定者向け事業

No.	日付	内容	会場	参加者数
1	R03.5~R04.2	内定者 WEB トーク	オンライン会議室 ZOOM	25
2	R03.5~R04.3	内定者交流会 (任意参加)	オンライン会議室 ZOOM	28
3	R03.5~R03.12	内定者法人見学	各施設	25
4	R03.11.03	内定式	オンライン会議室 ZOOM	19
5	R03.12~R04.3	内定者ミタ面談	オンライン会議室 ZOOM	42
6	R04.1	社宅・車相談会	オンライン会議室 ZOOM	15
7	R04.02.15	内定者セミナー (任意参加)	オンライン会議室 ZOOM	16

7 職員研修

法人内研修

単位：人

対象職員	内容	講師	人数
新任職員	1 新任基本研修	㈱BLUE MISSION 俣野裕哉氏 京丹後市地域雇用促進協議会 原康太郎氏 楢田理事長、本部、人材開発室	22
	2 社会福祉の可能性と法人のこれから 【社会福祉の理解編】 オンライン(講義・グループワーク)	楢田理事長、人材開発室	23
	3 MISSION 型研修 (少人数グループワーク・テーマに沿って 施設見学とヒアリング・研究発表)	人材開発室	19
	4 理事長講話「社会福祉の可能性と法人のこれから【法人理念の理解編】」・研究発表 オンライン(講義・プレゼンテーション)	楢田理事長、人材開発室	29
FUKUSHI STUDIES	1 第1回 FUKUSHI STUDIES キックオフミーティング(講義・グループワーク・研究テーマの設定)	人材開発室	20
	2 第2回 FUKUSHI STUDIES (問題定義から研究テーマの深堀)	人材開発室	19
	3 第3回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	19
	4 第4回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	19

	5	第5回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	19
	6	FUKUSHI STUDIES 第1回オンラインセミナー チームで繋がるコミュニケーション～子どもの真 ん中に職員がお互いに活かしあうた めに～ (講義)	ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ 保育コミュニケーション協会 代表 松原美里氏	30
	7	FUKUSHI STUDIES 第2回オンラインセミナー 笑いとお互いのマリアージュ (講義)	介護エンターテイナー 石田竜生氏	43
	8	第6回 FUKUSHI STUDIES (グループワーク)	人材開発室	20
	9	第7回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	20
	10	FUKUSHI STUDIES 第3回オンラインセミナー 学力テストで測れない非認知能力を伸ば すコツ (講義)	岡山大学准教授 中山芳一氏	64
	11	FUKUSHI STUDIES 第4回オンラインセミナー 「最強コミュニケーション術」 (講義)	正嶋松場 (正嶋ヒデアノ氏、 松場エイジ氏)	20
	12	第8回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	19
	13	第9回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク)	人材開発室	18
	14	FUKUSHI STUDIES 第5回オンラインセミナー 非認知能力：行動指標 (アイデア・ナ ツ) (講義)	岡山大学准教授 中山 芳一 氏	36
	15	FUKUSHI STUDIES 第6回オンラインセミナー コミュニケーション：コーチング (講義)	ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ 松原 美里 氏	17
	16	FUKUSHI STUDIES 第7回オンラインセミナー 応用行動分析学 (ABA) (講義)	みどりトータルヘルス研究所 藤田 昌也 氏	41
	17	第10回 FUKUSHI STUDIES オンライン(グループワーク) 研究発表会	人材開発室	22
管理職員 指導職員	1	ティーチングトーチング研修 (講義・グループワーク)	(株)アルマインド 柳田貴子氏	38
特別講座	1	考課者研修 (新任者) オンライン (講義・グループワーク)	(株)エイトル研究所 京都支店 中川睦幸氏	3
	2	2年目フォローアップ研修 (講義・グループワーク)	人材開発室	21
全職員	1	交通安全講習 オンライン(講義・DVD視聴)	損保ジャパン(株) 京都支店舞鶴支社 西山彰一氏・稲木麻由子氏	38

8 地域貢献活動

新型コロナウイルス感染症予防対策を行い「おひさまひろば」、「のびっこクラブ」、「すくすく」、施設開放等の地域の子育て支援や子供達への遊び場提供、小中高校の福祉体験受入、地区福祉サロン等でのレクリエーション・介護相談等を実施しました。

また、平成29年度から「京都地域福祉創生事業」(わかプロジェクト)の一環として実施している、「誰でも自由に集まれるみんなの居場所「きらきらスペース」」を2回実施しました。

- (1) 地域の要支援者に対する相談支援 (子育て相談、食育相談、産後ケア、子育て広場、園開放、認知症安心サポート窓口)

峰山乳児院、てらす峰夢、ゆうかり乳児保育所、大宮北保育所、ゆうかり子ども園、吉津子ども園、府中子ども園、さつき園、すずらん、もみじ、かえで、ないきの家、さかいの家、みやづの家、マ・ルート

- (2) 地域の要支援者に対する配食、見守り、移動等の生活支援 (配食サービス、安否確認コールサービス、買い物支援サービス)

はごろも苑、弥栄はごろも苑

- (3) 地域の要支援者に対する権利擁護支援（家庭子ども支援ネットへの参画）
峰山乳児院、てらす峰夢
- (4) 地域の要支援者に対する資金や物資の貸付・提供（京都式フードバンク事業への協力、福祉避難所）
峰山乳児院、てらす峰夢、ゆうかり乳児保育所、大宮北保育所、もみじ、かえで、さつき園、マ・ルート
- (5) 既存事業の利用料の減額・免除（低所得者の介護保険サービスの利用者負担減免）
はごろも苑、弥栄はごろも苑、ないきの家、さかいの家
- (6) 地域のニーズ等を把握するためのサロン活動（子育てサロン、認知症カフェ）
峰山乳児院、てらす峰夢、はごろも苑、もみじ、ないきの家、さかいの家
- (7) 地域住民に対する福祉教育（実習生、講師派遣、福祉体験の受入）
峰山乳児院、てらす峰夢、ゆうかり子ども園、吉津子ども園、はごろも苑、かえで、マ・ルート
- (8) 地域の関係者とのネットワークづくり（多世代の居場所作り・子ども食堂、地域のコミュニティスクールへの参画、認知症サポーター養成講座、認知症家族の交流会、救命講習会、複数法人間連携事業への参画（災害時の相互支援に関する協定、複数法人と連携し人材確保のためのインターンシッププログラム等の開発、実施））
ゆうかり乳児保育所、大宮北保育所、ゆうかり子ども園、吉津子ども園、はごろも苑、みやづの家、マ・ルート、人材開発室
- (9) その他（地域の子ども達等への遊び場提供・遊びの紹介、交流会の実施・参加、地区行事への参加、施設開放、掃活動、草刈、避難訓練、産地消の取組）
峰山乳児院、てらす峰夢、ゆうかり乳児保育所、大宮北保育所、ゆうかり子ども園、吉津子ども園、府中子ども園、すずらん、もみの木、はごろも苑、弥栄はごろも苑、かえで、ないきの家、さかいの家、みやづの家、マ・ルート

部門別事業報告概要

(1) 児童部門

ア) 児童入所部門

【実績】

- ・ 峰山乳児院は前年度の暫定定員19名から20名に戻りスタートしました。新規入所は4名、一時保護委託は11名と充足率は約90%であり、令和4年度の定員は変わりません。
- ・ てらす峰夢は、25名の定員でスタートしました。年度途中に入所、一時保護児童の受け入れの動きがありましたが、充足率は90%に至らず令和4年度は24名の暫定定員となります。
- ・ 峰山乳児院ではコロナ禍にあって、ショートステイ、産後ケア等在宅の子育て支援の受け入れが減少しました。一方、てらす峰夢では、感染予防をして受け入れました。
- ・ 児童日中一時支援事業は、京丹後市より単価の増額がありましたので、パート職員1名を増員して受入れ、利用が年間約100名（延人数）増えました。

【トピックス】

- ・ 峰山乳児院では、4か所のグループケアを実施しました（申請は3か所）。
- ・ てらす峰夢では、地域小規模グループケアを継続的に4か所実施しました（申請は3か所）。
- ・ コロナ禍にあり、新規受け入れは慎重に行いました。面会等もリモートに切り替えて行いました。家庭引き取りや里親委託も感染症の流行状況を確認し感染予防を行い進めました。
- ・ 峰山乳児院では、新型コロナウイルス感染はありませんでした。てらす峰夢では1月末に小学4年生2名が発熱し、陽性となりました。旧幼児寮を使用している生活を行うことにより、他の児童、職員への感染はありませんでした。
- ・ 虐待の重篤なケースが増えており、生活の中で虐待のトラウマの表出もみられ、他児や職員への攻撃もあります。職員は、医療機関を受診して関わり方の指導を受けたり、ケースカンファレンスを開催したり、トラウマや性教育の研修の受講等、子どもの行動の理解に努めました。

【課題】

- ・ 地域の子育て支援の拠点となる「児童家庭支援センター」の設置に向けて、検討し取り組みを進めていきます。
- ・ 地域のさまざまなニーズに応えられるように、施設の機能強化、多機能化に向けた取り組みを行います。

【地域貢献】

- ・ おひさまひろば・・・緊急事態宣言中はリモート配信で、その他は人数を制限し、プログラムを工夫しながら実施しました。
- ・ のびっこクラブ・・・新型コロナウイルス感染症対策の為、年5回の開催でした。
- ・ 産後ケア事業・・・京丹後市、与謝野町、宮津市と契約。コロナ禍で、1組2日の利用。
- ・ 京都式フードバンク事業・・・コロナ禍で「子ども食堂」の活動が困難なことから、依頼事業がありませんでした。

イ) 保育所・子ども園

【実績】

- ・ 保護者が安心して預けることができるように、日々の送迎時間や連絡帳を利用したり、個別面談を実施したりするなど、丁寧に様子を伝え、保護者・子どもの思いに寄り添い関わりました。
- ・ 保育ソーシャルワーカーの配置には至りませんでしたが、職員がキャリアパス研修を受講し、保護者支援や児童の発達に関する学びを深めました。
- ・ 各市に補助金についての要望を上げ、協議を続けました。その結果、令和4年度より宮津市の

障がい加配補助金率が上がることになりました。

- ・子ども達にもわかりやすく SDGs を伝え、身近にできる地域のゴミ拾いやプラごみの削減の環境問題や、給食を残さずに食べるなど食品ロスの改善に取り組みました。

【トピックス】

- ・京都府の緊急事態宣言、まん延防止等重点措置に応じて、行事や取り組みを検討しました。新型コロナウイルス感染症対策を実施するにあたり、保護者への手紙配布や玄関掲示を用いて協力を得るようにしました。
また、迅速な情報提供を心掛け、連絡アプリを使用して保護者へのコロナ感染状況を発信しました。「早くに丁寧にお知らせがいただけるので安心できる」との声を頂きました。

【課題】

- ・コロナ禍で、今までの取り組みを実践することが難しいため、参加方法や内容を検討します。

【地域貢献】

- ・地域貢献事業として、誰でも自由に集まれる居場所づくり「きらきらスペース」の内容を検討し8月と12月に実施しました。
- ・京都方式のフードバンク事業（子ども食堂に対応するもの）は、コロナ禍で「子ども食堂」の活動が困難なことから、依頼事業がありませんでした。

(2) 障がい部門

【実績】

- ・障がい児療育事業の児童発達支援や放課後等デイサービスでは、子どもたちへの新型コロナウイルス感染の報告が増えた夏以降、学校、保育所の休校・学級閉鎖、濃厚接触等による自宅待機などで利用を中止される方が多発しました。スタッフの感染が判明し休園となった事業所もあり、前年比で利用延べ数が減少するなど感染症の影響を受けました。そうした中でも、保護者の状況に配慮した通園方法を提案したり、ご家族の不安を聞く機会を持ったりすることで休まず療育訓練に通われたり、利用回数を増やすケースがありました。ご家族からの開催ニーズのある家族参加型の療育会やいちご狩り、中高生支援では、“宿泊体験、調理体験がしたい”等の声を拾い上げ、感染対策を徹底して活動を実現させることで計画を超える利用実績となった事業所もあります。
- ・成人の通所事業である就労継続支援B型においては、予定通り法人内事業所の窓ガラス清掃やエアコンフィルター清掃作業を増やすことができ、ご利用者の工賃支払い合計額も前年比1割増を達成しました。
- ・もみの木の地域活動支援事業では、玄関ホールを心地よい居場所空間に変えることで密を避ける対策をとり、緊急事態宣言下においても毎日20名近いご利用者を受け入れ、利用ニーズに応えました。
- ・相談支援事業は、課題である相談員の増員ができないままスタートしました。新規ケースの受け入れは多くはありませんが、継続ケースでは教育、医療等の関係機関と連携して、より丁寧なチーム支援ケースが増えています。
- ・ノウフク連携チームと連携し、就労支援事業の立ち上げに取り組みましたが、人員、建物、目標となる工賃が得られるだけの作業の組み立てができず、令和4年度の事業開始を見送りました。

【トピックス】

- ・さつき園では、居宅訪問型児童発達支援の指定を受け、重度なお子さんの在宅支援ができるようになりました。また、理学療法士を採用し、乳幼児療育の場で理学療法の視点をもって支援ができる体制を作りました。

- ・マ・ルートでは、スタッフが公認心理師資格を取得したので、放課後等デイサービスの専門職として配置しました。集団心理指導の実施、行動分析的視点で支援やスタッフへの助言を行いました。
- ・ICTの活用が昨年以上に進みました。事業所内外の会議や相談支援のモニタリング、認定調査のオンライン化はもちろん、ご家族との学習会や従来対面で行っていた行事などをオンラインで実施することにチャレンジした事業所もあります。

【課題】

- ・発達支援、障がい者支援という専門的知識を必要とする事業部門として、支援・相談援助力の向上に努めます。
- ・専門性を今以上に発揮するため、今後の事業展開に柔軟に対応するためにも、人材の確保、職員の育成に努めます。
- ・各事業所のことをもっと地域の方に知ってもらうこと、事業所の専門性を地域に還元する取り組み、ご利用者が地域の人と当たり前に過ごす環境づくりなどに取り組みます。

【地域貢献】

- ・事業所の持つ資源を地域に還元する事業所開放は、新型コロナウイルス感染状況が落ち着かず、計画どおりの実施には至りませんでした。今後は、感染対策等の今までに蓄積した知識をしっかりと活かし、少しずつ新たな取り組みや、今まで実施していた事業の再開を進めたいと思います。
- ・ご利用者とスタッフによる地域のクリーン活動を継続して実施しました。この活動を地域の方に知っていただいたり、地域の方との接点にしたりする方法を検討したいと考えています。

(3) 高齢者部門

ア) 特別養護老人ホーム・ショートステイ・デイサービス・訪問介護、居宅介護支援

【実績】

- ・はごろも苑：在宅部門は、訪問介護の利用が前年度より増加しました。デイサービス、ショートステイは、介護老人福祉施設、老人保健施設への入所、永眠等により利用が減少しました。長期入苑は、入院日数の増加により稼働率が低下しました。
- ・弥栄はごろも苑：在宅部門は、新型コロナウイルス感染症の影響がありましたが、新規受け入れを積極的に進めたことにより、前年度より稼働率は増加しました。長期入苑は、2月と3月に感染症拡大があり、空室ができましたが新規入苑を進めることができず、稼働率は減少しました。
- ・エルダータウン：7月より定員60床となり、7月中に入所が59名になりました。年末年始には入退所が続き、稼働率の安定しない時期が続きました。

【トピックス】

- ・はごろも苑：コロナ禍でしたが、ご利用者、職員ともに感染者がいなかったため、サービスを中止することなく運営できました。
- ・弥栄はごろも苑：2月に新型コロナウイルス感染症のクラスターとなり、ご利用者9名、職員7名が感染したことから、在宅部門を休止して対応しました。
- ・エルダータウン：新任職員や技能実習生と共に、福祉や介護の基本を学び直し、チームで動く支援に目を向ける年となりました。新型コロナウイルス感染症の予防接種については、ご利用者、職員共に大きな体調変化なく接種できました。

【課題】

- ・はごろも苑：訪問介護以外の事業の稼働率が低迷しているため、状況把握、他の関係機関との連携や職員の質の向上を図り、現状に見合ったサービス提供に努めていきます。

- ・弥栄はごろも苑：2年続けて施設内で新型コロナウイルス感染症が拡大しました。専門家による支援チームの指導に沿った感染予防対策の徹底と連絡体制の構築をBCPに沿って進めます。
- ・エルダータウン：毎年新任職員が配属されるため、人材育成プログラムの確立や統一等を目指し、立案を行います。また、入院日数減少に向けて、日々のケアの方法を見直し、プラン内容を充実させるよう取り組みます。

【地域貢献】

- ・はごろも苑：認知症サポーター養成講座、いきいきカフェ、認知症家族の交流会「こすもすの会」、清掃活動、実習生の受入れを実施しました。
- ・弥栄はごろも苑：昨年度に引き続き、地元の農家の野菜を購入し、地産地消に取り組みました。また、地域の高齢者の集いに、運営スタッフとして参加しています。
- ・エルダータウン：認知症サポーターの活動、資格実習生の受入れ、地元高校へ講師派遣を行いました。魚釣りの方や散歩に来られた方の休憩場所や製作物の展示・販売場所として、ラウンジを開放しました。

イ) グループホーム

【実績】

- ・もみじ：入退居が3件ありました。空室期間が短く、稼働率は大きく下がりませんでした。
- ・かえで：入退居7件、入退院7件と例年以上に多く、稼働率は大幅に減少しました。空き日数を減らせるよう準備等の工夫をしていきます。

【トピックス】

- ・もみじ：令和3年度の異動で配属された職員により、もみじの雰囲気が変わりました。また、弥栄はごろも苑の管理栄養士の協力を得て、新たに栄養管理体制加算を算定しました。アドバイス等がもらえるため、毎月の食事内容を見直し、食事内容の充実を図りました。
- ・かえで：技能実習生2名と若手職員について、利用者との会話や関わり、ケアの技術が向上し一人で任せることが増えました。

【課題】

- ・もみじ：ご家族等との面会、外出ができず、ご入居者が落ち着かれないように感じられました。短時間でしたが、内部研修ができるようになりましたので、どんなことを勉強したいか意見を聞きながら、研修内容を検討します。
- ・かえで：かえでだよりを毎月発行し、日々の様子をお伝えしましたが、コロナ禍によりご家族や地域の方等と交流できませんでした。

【地域貢献】

- ・もみじ：認知症あんしんサポート窓口として、入居申込時や問い合わせに対応しました。
- ・かえで：地区の老人会より講師依頼があり、認知症介護や認知症予防について話しました。

ウ) 小規模多機能型居宅介護事業所

【実績】

- ・ないきの家：12月から3月までに6名が長期入所のため契約終了となり、新規利用者の依頼は2名のみでした。介護度の平均は約1.4ですが、独居の方の受診回数が増えました。
- ・さかいの家：夏期と冬期にご利用者の状況に大きな変化があり、その後、相談や見学はあるものの登録には繋がりませんでした。看取り対応や可能な限り在宅で過ごしたいという利用者やご家族への支援を行いました。
- ・みやづの家：ご利用者ご家族に対して行ったアンケート結果では、満足度が高い評価でしたが、定員24名にすることはできませんでした。契約終了者は3名、新規契約者は3名でした。

【トピックス】

- ・ないきの家：実践研究の取り組みで認知症の基礎について学び、ご利用者の環境面に目を向けることができました。環境面がご利用者へ与える影響を考える機会になりました。
- ・さかいの家：消防署員による救命救急の講習会に技能実習生も一緒に参加し、救命救急の具体的な対応や考え方を学ぶことができました。
- ・みやづの家：9月から一人ひとりの個性やニーズに合わせたケアの充実を図るためにくもん学習療法を取り入れました。参加されているご利用者は学習を楽しみにされており、笑顔で取り組まれています。

【課題】

- ・ないきの家：利用者が地域の事業に参加する機会が持てませんでした。コロナ禍であってもできる事を検討します。
- ・さかいの家：登録者が増えない状況が続いています。さかいの家に関心を持っていただけるような取り組みや活動を計画し、実践していきます。
- ・みやづの家：登録定員に満たない状況が続きました。利用が増えるための取り組みとして、みやづの家を知っていただくために、他事業所に広報紙を配布したいと考えています。

【地域貢献】

- ・ないきの家：地域の方と一緒に、ごみ拾いと神社の掃除に参加しました。地域の方と、初めて顔を合わせることができました。
- ・さかいの家：公民館掃除や溝掃除などで地域の方々と共に活動できました。いきいきカフェ（はごろも苑、ないきの家、もみじ、さかいの家）はコロナ禍ではありましたが、3回開催できました。
- ・みやづの家：週1回のゴミ拾いを行いました。地域の方と挨拶を交わす間柄となり、ペットボトルのキャップや新聞紙等の資源ごみを提供していただくことができました。